

部落差別に対する認識は

町長 現在も続く社会問題である



西山 富三郎 議員

町長

〔西山〕我が国固有の人権問題である部落差別に対する認識は。

〔町長〕全国部落調査復刻販売事件、個人情報報のさらし、掲示板での差別を助長する書き込みなど、ネット社会の到来によりネット上で部落差別に関する誤った情報が拡散され、部落差別の状況が深刻化している。同和問題は、現在も続いている重大な社会問題であると認識している。

〔西山〕女性の人権問題は。

〔町長〕男は仕事、女は家庭といった意識が社会に残っている。家庭や職場における男女差別を生んでいる。夫・パートナーからの暴力や職場などにおけるセクハラ、性犯罪などの問題と認識している。

〔西山〕障がい者の人権問題は。

〔町長〕車椅子での乗車やアパートへの入居を拒否されたりする事案が発生するなど、理解や配慮が十分とはいえず、自立と社会参加が阻まれている。



共生のまちづくり

人権尊重条例の姿勢は

町長

差別のない社会づくりをはかる

〔西山〕大山町人権尊重の社会づくり条例では前文に経過、理念などが謳われていない。相談支援体制・実態調査に関するなどが盛り込まれていない。改正の意志は。

〔町長〕現時点では条例の改正は考えていない。

〔西山〕どうすればらしくどう実効性のあるものにするのか。

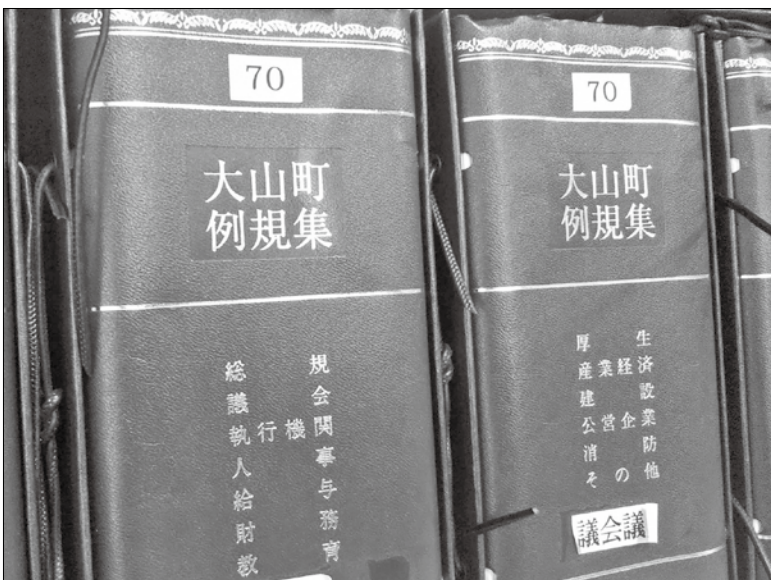
〔町長〕この条例は理念法であるので、あらゆる人権問題の解決に向けた基本方針や施策、そのための基本計画の策定を行うことで実効性のあるものになっている。

〔西山〕基本姿勢の認識は。

〔町長〕第2条の「町

の責務」で謳ってあるとおり、差別のない真に人権が尊重される社会づくりをはかるために関係機関と協力し、これに関する施策の積

極的な推進、人権尊重の社会的環境づくり、人権意識の醸成および高揚の促進をしていかなければならないと認識している。



議会図書室の文献